

2026 年度事業計画について

2026年 4 月 1 日から

2026 年 3 月 31 日まで

公益財団法人

九 電 み ら い 財 団

2026 年度は、環境事業として「環境保全活動」、「植林活動」、「環境教育活動」及び「次世代向け環境活動支援」を行うほか、奨学金事業として「奨学金の給付」を実施する。

また、2026 年 5 月に当財団が設立 10 周年を迎えることを契機として、各事業において財団活動の認知拡大及びステークホルダーの親しみや共感が得られる取り組みを強化する。

I 環境事業

1 坊ガツル湿原一帯における環境保全活動

- 坊ガツル湿原（大分県竹田市）一帯において、ラムサール条約で求められている「保全」と「活用」の観点から活動を実施
 - ・ 保全面では、坊ガツル湿原の保全およびその一帯に生息する希少植物保護のため、環境省、自治体及び地元団体等とともに、湿原の野焼きや希少植物の保護、また、平治岳においては、ミヤマキリシマ植生保護及び登山道整備等の活動を実施
 - ・ 活用面では、平治岳のミヤマキリシマの観光資源化を目指し、開花範囲の拡大に向けた北側斜面支障木伐採を継続実施

(1) 坊ガツル湿原野焼き活動

- 当財団と地域の方々等で構成する「坊ガツル野焼き実行委員会（事務局：当財団）」にて、実施時期や活動参加者等を決定（6 月、12 月）

活 動	内 容	時 期	参加者
輪地切り	野焼きの際の延焼防止のための防火帯づくり	8 月	各 140 名程度
輪地焼き	防火帯部分に新芽が出ないように刈った草を集め焼き払う	9 月	
本焼き	・ 防火帯の内側に火を入れ、湿原一帯を焼く ・ 野焼き活動の認知拡大に繋がる現地勉強会実施	翌年 3 月	140 名程度 30 名程度

- リーダーの技術力を継承し、リーダーの高齢化・固定化により野焼き活動が再び途絶えることがないよう、リーダー養成研修を実施（20 名）
 - ・ 本活動における現リーダー・サブリーダーの実技指導（OJT）により後継者育成を実施

※講義・実技研修は 2024 年度実施済み

活 動	実技指導（OJT）
輪地切り	8 月
輪地焼き	9 月
本焼き	翌年 3 月

(2) 坊ガツル湿原希少植物保護活動

内 容	時 期	参加者
湿原の希少植物保護のため、外来植物を除去	7 月	100 名程度

(3) 平治岳ミヤマキリシマ植生保護および登山道整備活動

エリア	内 容	時 期	参加者
南側斜面	かん木（ミヤマキリシマの育成に支障となる低木）等を除去するとともに老朽化している登山道を整備	4 月 11 月	各 100 名程度
北側斜面	かん木等を除去 ※急峻であるため委託で実施	11 月～ 翌年 3 月	委託

(4) 坊ガツル登山ツアー

- 財団設立 10 周年を契機として、坊ガツル湿原一帯での環境保全活動や財団活動の認知度向上を目的とした、登山者初心者でも参加できる「親子向け登山ツアー」を開催

内 容	時 期	備考
登山ガイドによる森林セラピーを兼ねたトレッキングや坊ガツル湿原から開花最盛期のミヤマキリシマ鑑賞に加え、同湿原一帯での環境保全活動の概要および歴史を紹介 九州唯一の山岳温泉宿「法華院温泉山荘」での宿泊や夜に湿原の中で星空観察など、観光と環境両面からの体験を提供	6 月	30 名程度 (親子 10 組)

(5) 第 15 回全国草原サミット・シンポジウム in ここのえ

- 「全国草原サミット・シンポジウム」は、草原保全に取り組む関係者が全国から集まり、知識や技術を共有し、保全・継承活動の現状や課題について議論を深め、連携していくことを目的に、15 回目となる今回は大分県九重町にて開催
- 当財団は「坊ガツル野焼き実行委員会」の事務局として、野焼き活動における課題や安全管理をテーマとした分科会に出席（9 月）

2 九電みらいの森プロジェクト（植林活動）

- 環境教育や地域交流の拠点となる森づくりを目指して、地域と協働で植林等に取り組みながらカーボンニュートラルを推進
 - ・ 地域の方々との協働で森づくりに取り組むとともに、植林等の体験を通じた子どもたちへの環境教育を実施
 - ・ 自治体や関係先との調整のもと、「ひさやま九電みらいの森」のフィールド整備を着実に進めるとともに、今秋から環境教育等での活用を開始

(1) ひさやま九電みらいの森（福岡県糟屋郡久山町）での活動

- 久山町や九州電力 福岡支店等との連携のもと、環境教育や地域の憩いの場としての活用に向けたフィールド整備を着実に推進
- 整備状況を踏まえつつ、秋頃から地元の小学校を対象とした環境教育[※]等を開始。初回教育にあわせて、自治体や地元の方々を招いた記念植樹を実施することで、フィールド認知拡大や活用促進に繋げる

内 容	時 期	備考
設立 10 周年を記念した植樹を実施 (自治体ほか地元関係者及び九電グループ)	10 月	30 名 程度

※ 環境教育の詳細は「3 環境教育活動」参照

(2) 「きりしま九電みらいの森」（鹿児島県霧島市）での活動

- 委託によるフィールド整備の継続とボランティア等による地域と一体となった森づくり活動を実施

内 容	時 期	参加者
環境教育等の円滑な実施に向けた整備に加え、地元の方々や自治体及び九電グループ従業員などによる広葉樹の植林ボランティア活動を通じて、地域と一体となった豊かな森づくりを推進	11 月	100 名程度

(3) 「いさはや九電みらいの森」(長崎県諫早市)での活動

- 植林した苗木の成長促進のため、下草刈り等の育林活動を実施

内 容	時 期	備考
植林した苗木の成長を助けるため、下草刈を実施 ※植林地が急峻であるため委託で実施	4 月 10 月	委託
地域の方々や自治体・団体、九電グループ従業員を対象にボランティアを募集し、除草・ツル切り等育林活動を実施	5 月	100 名 程度

- 森の成長状況を記録・評価するため、植林した苗木の生育調査を実施。経年的な生存率や成長度合いの記録を整理し、森全体の苗木の成長に適した環境造りに活用

内 容	時 期	備考
地形や土壌条件等を考慮した半径 3 m の調査エリアを 4 ～ 5 ヶ所選定し、調査エリア内の苗木の毎木調査を実施	6 月 11 月	委託

3 環境教育活動

- 次世代の環境保全意識啓発のため、森での「現地環境教育」とVR(ヴァーチャリアリティ)等のデジタル技術を活用した出前型「デジタル環境教育」を委託実施
 - ・ 現地環境教育は、「くじゅう九電の森」(大分県由布市)、「いさはや九電みらいの森」、「きりしま九電みらいの森」にて、地球温暖化の現状(カーボンニュートラルを含む)や森林が持つ役割(CO₂ 抑制効果・生物多様性保全機能・水源涵養機能等)を説明する講話と、森林散策や各々の森の特性を活かした体験学習を実施
 - ・ 森の中で楽しみながら学べるプログラムとして、タブレット端末を用いたウォークラリーアプリを新たに開発し、各森へ展開
 - ・ 設立10周年記念として、各森にて参加者数や規模を拡大し、地域団体等との連携による親子向け環境イベント等を開催
 - ・ 「ひさやま九電みらいの森」については、森の整備状況に合わせたプログラムを検討し、周辺小学校を対象に試行実施
 - ・ デジタル環境教育は、地球温暖化の現状や森の役割の講話と、VRやCG等のデジタル技術を活用したコンテンツを用いて、間伐の疑似体験を実施
- 各教育の実施にあたっては、当財団HPやSNSでの告知、各自治体の教育委員会・各学校への案内等により募集
- 企業や自治体、助成先を含む他団体が主催する次世代向けイベントにも出展し、教育機会を拡大

[現地環境教育]

対 象		場 所	教育内容	回数	時 期	参加者数
学校向け	九州全域の小学生	くじゅう	講話、散策、間伐	7回	5、9、10月	480名程度
		いさはや	講話、散策、下草刈り、観察	10回	4、10、11月	500名程度
		きりしま	講話、散策、植林、保全整備	6回	6、7、12月	240名程度
親子向け	九州全域の小学生とその保護者	くじゅう	講話、散策、間伐、木工	1回	4月	200名程度
		いさはや	講話、散策、木工	1回	10月	200名程度
		きりしま	講話、木工植林体験	1回	9月	200名程度
		ひさやま	講話、植林	1回	3月	100名程度

[デジタル環境教育]

対 象	場 所	教育内容	回数	時 期	参加者数
九州全域の小学生	主に学校	講話、VR間伐	50回	通年	1,500名程度

4 次世代向けの環境活動支援

- 非営利団体が取り組む環境分野の次世代育成活動を対象に、公募により助成を実施

(1) 2026年度助成事業の対象団体決定及び支援

- 応募があった44団体のうち、アドバイザーへの意見照会を経て助成対象団体を決定
- 助成対象団体を広報面でも支援するため、活動の内容を財団SNSで紹介

(2) 2027年度助成事業の募集

- 応募数の維持・拡大に向け、財団ホームページやSNS等を通じて募集し、外部アドバイザーへの意見照会を経て助成対象団体を決定

(3) 設立10周年記念の取組み

- これまでの助成対象団体から「助成後の活動の発展や成果等」について寄稿いただき、財団SNSやHPで広く発信

Ⅱ 奨学金事業

1 奨学金の給付

- 現行の奨学生に対する給付を実施

(1) 給付対象

私費留学生（九州工業大学）

(2) 奨学金給与の額及び期間

給与額：月額 2 万円/人、年額 22 万円/人（8 月は支給なし）

期 間：正規の修学期間を終了するときまでの最短期間

(3) 2026 年度奨学生数及び給与総額

奨学生 1 名、22 万円/年

Ⅲ 財団運営

九電みらい財団の「目指す姿」実現に向け、九電グループや地域との連携により、地域・社会との信頼関係構築の取組みを展開し、地域・社会との接点拡大に努める。

また、設立 10 周年を契機として、財団の認知向上につながる情報発信を継続するとともに、活動の P R に寄与する新たな施策や連携先について検討・実施する。

1 情報発信

- 財団の認知向上を目的に、財団が保有するメディアを通じて、公式キャラクター「たねっぴー」を効果的に活用するなど、積極的な情報発信を実施
 - ・ ホームページ、Facebook、Instagram、YouTube 等を活用し、活動の告知や報告を適宜発信するほか、SNS フォロワー獲得状況も踏まえた情報発信を実施
 - ・ Instagram を活用したフォトコンテストを 1 回実施。また、入選作品等をパネル化し、財団内外のイベントで展示するほか、カレンダー等に活用
- マスメディアを活用した情報発信を協働先と連携して実施
 - ・ 財団活動時は、新聞社やテレビ局等の報道機関に対し取材案内
 - ・ 環境事業の協働先や助成先が活動を行う際、財団名の記載や財団ロゴを掲載した情報発信を要請
- 設立 10 周年記念として、「第 9 回 夏山フェスタ in 福岡 2026」において著名人を招いた講演会を実施し、自然の大切さや登山の魅力、安全登山の知識をお伝えするとともに、当財団の環境保全活動の取組みも P R
- 財団のこれまでの取組みをまとめた動画を、財団公式 YouTube チャンネルや九州電力 本店・各支店建屋内に設置されているデジタルサイネージ等で放映

〔参考〕2026 年度活動スケジュール

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
環境活動	環境保全	★ミヤマキリシマ 植生保護		★坊ガツル ツアー	★希少植物 保護	★坊ガツル 輪地切り	★坊ガツル 輪地焼き		★ミヤマキリシマ 植生保護				★坊ガツル 本焼き
	植 林	フィールド設計/整備準備（ひさやま丸電みらいの森）											
			★森づくりボランティア （いさはや）						★記念植樹 （ひさやま）	★森づくりボランティア （きりしま）			
	環境教育 （現地）	学校向け （くじゅう）	学校向け （きりしま）				学校向け （くじゅう）	学校向け （ひさやま）	学校向け （いさはや）	学校向け （きりしま）			
	環境教育 （デジタル）	★親子向け （くじゅう）					★親子向け （きりしま）	★親子向け （いさはや）					★親子向け （ひさやま）
次世代育成 支援活動		助成対象団体贈呈式	助成先団体の情報発信協力							2027 年度 助成先募集	2027 年度 助成先選考		助成先 決定 ★
奨学金事業		奨学金の給付 ※8 月を除く											
情報発信		ホームページ、SNS、メディア等を通じた発信、フォトコンテストパネル展示など											
				★夏山フェスタ									

以 上